

黒瀬中国総合通信局長が着任会見を実施

ICTで中国地域の観光、防災、地デジを積極的に支援

中国総合通信局は、総務省人事(7月22日付)により就任した、黒瀬泰平局長の着任会見を平成26年7月29日(火)局会議室において開催しました。

黒瀬局長は、自己紹介の後、感想として家系のルーツである島根県浜田市がある中国地方への赴任であり、「里帰りに似た感覚がある。」と述べました。

次に、中国総合通信局のミッションとして、ICTで元気をつくるため、外国をターゲットに市場拡大の可能性のある観光分野、放送番組コンテンツの海外展開、ビッグデータ・オープンデータの活用、教育分野への積極的な支援について、また、ICTで命をまもるため、防災情報伝達基盤である「公共情報コモンズ」の全県運用の促進、更に地デジ難視対策終了へ向けた取り組みを述べました。また、出先機関のミッションとして、本省と地域のパイプとしての役割をしっかりと果たしていくための取り組みについて触れました。

最後に、「事にあたるには、広く意見を聴いて物事を進める」ことをモットーとしてきたことから「中国各地域の事情を吸収して仕事の上で生かしていきたい。」と述べました。

中国総合通信局は、これからも「ICT×地域」とともに歩んでまいります。



【着任会見の様子】



【黒瀬泰平局長】

お問い合わせ先 : 企画広報室 082-222-3445